

# 2019 年度小学校教員資格認定試験

## 教科及び教職に関する科目 (Ⅱ)

### 社 会

#### 注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験運営大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 運営大学名、氏名、受験番号、受験科目を 2019 年度「幼稚園・小学校教員資格認定試験解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。  
ただし、受験科目のマークについては、小学校の欄にマークしてください。
4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、全て解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。  
訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。  
解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 50 分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。 (よい例) ●
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例) ⊗ ⊗ ⊗ ⊗

以下の問いにおいて「小学校学習指導要領」とは、「『小学校学習指導要領』(平成29年3月文部科学省告示)第2章 第2節 社会」を指し、『小学校学習指導要領解説』とは、「文部科学省『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』(平成29年7月)」を指すものとする。

問1 「小学校学習指導要領」の「第1 目標」に示された記述として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 世界の諸地域や我が国の国土の地理的環境，歴史上の社会の仕組みや働き，企業や我が国の情報産業の理解を通して社会生活について理解する
- イ 様々な資料や調査活動，インターネットの使用を通して，情報を正確に記憶するための思考力を身に付けるようにする
- ウ 社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考えたり，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力，考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う
- エ 社会的事象について，与えられた課題を効率的に探究しようとする態度を養う

問2 次の各文は、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容」において示された，育成することを目指す資質・能力に関する記述である。これらの文のうち，誤っているものを，次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア〔第3学年〕身近な地域や市区町村の地理的環境，地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子，地域の様子の移り変わりについて，人々の生活との関連を踏まえて理解する
- イ〔第4学年〕自分たちの都道府県の地理的環境の特色，地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動，地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて，人々の生活との関連を踏まえて理解する
- ウ〔第5学年〕我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状，社会の情報化と産業の関わりについて，国民生活との関連を踏まえて理解する
- エ〔第6学年〕世界の歴史を背景とする我が国の歴史や伝統的な価値観，離島などに残る文化などについて理解する

問 3 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容 第 3 学年」の「2 内容」に示された記述として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 身近な地域や自分たちの市、県の仕組みに加えて、国際状況の詳細について正確な理解をすること。

イ 都道府県内の川の位置、山の形状などの地形や土地利用に着目し、それらを海外と比較して考察すること。

ウ 販売の仕事は、雇用者の利益を最大限に高めるように工夫されており、社会の効率化に役立てられることを理解すること。

エ 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現すること。

問 4 『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 第 2 節 第 4 学年の目標及び内容」の「2 第 4 学年の内容」に示された記述として正しい組合せを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

A 「自分たちの県の地理的環境の概要を理解すること」とは、国内における自分たちの県の位置、隣接する県との位置関係、県全体の地形や主な産業、交通網の様子や主な都市の位置などを基に、都道府県の様子について理解することである。

B 「47 都道府県の名称と位置を理解すること」とは、我が国が 47 の都道府県で構成されていることや、各都道府県の名称と位置について理解することである。その際、都道府県の名称に用いる漢字は、国語科と社会科の双方で第 6 学年までを通して総合的に学習する。

C 「地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめること」とは、自分たちの県の様子について、地図帳や立体模型、航空写真などの資料で調べ、県の白地図などにまとめることや、47 都道府県の名称と位置について、地図帳などで確かめたり、日本の白地図などに書き表したりすることである。

D 「我が国における自分たちの県の位置」に着目するとは、住んでいる都道府県がどの地方に属するのかといったことや、首都である東京からみてどの程度の距離にあるかを調べることである。

ア AとC

イ AとD

ウ BとC

エ BとD

問 5 次の各文は、「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容 第 4 学年」の「2 内容」に関する記述である。(2)「人々の健康や生活環境を支える事業」について身に付ける「知識及び技能」の記述として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていること
- イ 廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていること
- ウ 政治の働きやボランティア活動などに着目して、各種の事業が果たす役割を考えること
- エ 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること

問 6 『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 第 3 節 第 5 学年の目標及び内容」の「2 第 5 学年の内容」に示された記述の趣旨として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 「世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解すること」とは、排他的経済水域や領空の高度などを理解することである。
- イ 「我が国の国土の地形や気候の概要を理解する」とは、我が国の地形は全体としてみると山がちで平野が少ないこと、我が国の気候には四季の変化が見られることなどについて理解することである。
- ウ 「人々は自然環境に適応して生活していることを理解すること」とは、地震に対応するための耐震工事や、津波被害を防ぐための堤防の建設といったことを理解することである。
- エ 「地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること」とは、我が国の人口や都市ごとの国内総生産などを調べた上で、それを地図上に表現しながらまとめることである。

問 7 次の各文は、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容 第6 学年」の「2 内容」に関する記述である。(1)「我が国の政治の働きについて」身に付ける「知識及び技能」の記述として正しい組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- A 日本国憲法は国家の義務、天皇の責務、市民としての責任など国家や国民生活を成り立たせるための義務を定めたものであることを理解すること。
- B 現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解すること。
- C 国や地方公共団体の政治は、内閣に決定権があるという考え方の下、国民が権利を主張する上で重要な働きをしていることを理解すること。
- D 見学・調査したり各種の資料で調べたりして、まとめること。

- ア AとC
- イ AとD
- ウ BとC
- エ BとD

問 8 次の各文は、『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 第 2 節 第 4 学年の目標及び内容」に関する記述である。これらの文のうち、「自然災害から人々を守る活動に関する内容」の指導についての解説として、誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 「地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたこと」を理解することとは、県内で過去に自然災害が発生していること；発生した際には県や市、警察署や消防署、消防団などの関係機関や地域の人々が協力して、自然災害から人々の安全を守るために対処してきたことなどを基に、自然災害から人々を守る活動について理解することである。

イ 「今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること」とは、家族や地域の人々にアンケート調査やインタビュー調査などを行い、それらをもとに自らハザードマップを作成することである。

ウ 「聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめること」とは、自然災害から地域の安全を守る活動について、県庁や市役所、地域の防災組織などの関係者から聞き取り調査をしたり、地図や年表、関係者が作成した資料などで調べたりして、年表などにまとめることである。

エ 「過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現すること」とは、社会的事象の見方・考え方を働かせ、災害から人々を守る活動について、例えば、県内で過去にどのような自然災害が発生しどのような被害をもたらしたか、被害を減らすために関係機関や人々はどのように協力しているかなどの問いを設けて調べたり、それらの活動と人々の生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することである。

問 9 次の各文は、『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 第 4 節 第 6 学年の目標及び内容」に示された「2 第 6 学年の内容」における「歴史と人々の生活」に関する記述である。「思考力、判断力、表現力等」についての解説の趣旨として、誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 「世の中の様子」に着目するとは、例えば、いつから始まったか、どのような世の中だったか、どのように発展したかなどの問いを設けて、国家・社会の様子について調べることである。

イ 「人物の働き」に着目するとは、例えば、その人物はどのようなことをしたか、なぜそうしたか、社会や人々にどのような影響を与えたかなどの問いを設けて、国家・社会の発展や優れた文化遺産を生み出すことに貢献した先人の働きについて調べることである。

ウ 「代表的な文化遺産」に着目するとは、例えば、文化遺産の特徴は何か、なぜ注目されているかなどの問いを設けて、身近な地域の代表的な文化遺産が持つ独自性を調べ、保存する活動に積極的に取り組むことである。

エ 「我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現する」とは、例えば、調べた歴史上の主な事象を関連付けたり総合したりして、世の中の様子や国家・社会の変化、歴史を学ぶ意味などを考えたりして、文章で記述したり、年表や図表などにまとめたことを基に説明したりすることである。

問10 「小学校学習指導要領」では、「第 2 各学年の目標及び内容 第 6 学年」の「3 内容の取扱い」の中で次の人物を取り上げることが示されている。この人物と関連する事象の組合せとして正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 足利義満—— 銀閣寺の建設
- イ 足利義満—— 南北朝の合一
- ウ 足利義政—— 金閣寺の建設
- エ 足利義政—— 勘合貿易の開始

問11 次の各文は、戦後から現在へ続く日本の国際関係について述べたものである。正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 沖縄は1989年にアメリカ合衆国から日本に返還され、日本でも有数の工業地域となっている。
- イ ロシア連邦とは1951年に国交を回復し、北方領土は二島が返還された。
- ウ 朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)とは2002年に首脳会談が行われ、国交が回復した。
- エ 中華人民共和国とは1972年に国交が正常化され、1978年には日中平和友好条約を結んでいる。

問12 世界のおもな語族の一つに「ウラル語族」がある。この語族に属する言語として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア アラビア語
- イ スワヒリ語
- ウ 中国語
- エ ハンガリー語

問13 古代ギリシアの人物について述べた文として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア タレスは万物の根源を原子と考えた。
- イ ピタゴラスは数学の基礎を築いた。
- ウ ソクラテスは哲人の指導する理想国家論を唱えた。
- エ トウキディデスはペルシア戦争の歴史を物語として描いた。



問14 東アジアの歴史について述べた文として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 黄巾の乱により後漢が衰退し、華北の魏、長江下流域の呉、四川の蜀が中国を三分する形勢となった。
- イ 趙匡胤はモンゴルを撃退して明を建国し、次の太宗は中国を統一した。
- ウ 唐の時代には仏教が貴族の保護を受けて栄え、浄土真宗や日蓮宗などの宗派が鑑真と空海によって創始された。
- エ 高句麗は朝鮮半島を統一し、貨幣経済を発展させた。

問15 日本では、観光立国の推進のため、様々な地方誘客事業が展開されている。その中で持続可能性を主眼とした事業として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア エコツーリズム
- イ サブカルチャーツーリズム
- ウ サイクルツーリズム
- エ バーチャルツーリズム

問16 日本の地域とその特徴に関する説明として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 九州地方——人口は南部にかたより、人口が最も多い鹿児島県は、政治と経済の中心地である。
- イ 中国・四国地方——南四国や瀬戸内では涼しい気候と降水量の多さを活かした農業が盛んであり、日本海側では降水量が少ないために牧畜が営まれている。
- ウ 近畿地方——北は日本海、南は太平洋に面しており、北部の若狭湾と南部の志摩半島には、寒冷地特有のフィヨルドがみられる。
- エ 中部地方——日本アルプスと呼ばれる飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈があり、富士山や御嶽山なども中部地方にある。

問17 日本国憲法が保障する自由権に関する記述として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 居住・移転の自由 —— 公共の福祉に反しない限り、住む場所を自ら選び、移動することができる。
- イ 生命・身体の自由 —— 犯罪が疑われて取り調べを受ける際、令状なしに逮捕されることや所持品を検査されることはないが、自分に不利なことも正直に話さなければならない。
- ウ 精神の自由 —— 人は自らの意思で考え、信仰し、それらを主張し表現することができる。
- エ 経済活動の自由 —— 国家は法律に基づくことなく税を課したり、個人の土地を不当に奪ったりすることはできない。

問18 主権国家について述べた記述として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 国の範囲は、領土・領海・領空からなる。
- イ 国は人々に対して一切の権力をもたない。
- ウ 裁判所は国の機能から独立した機関である。
- エ 主権とは生まれた場所や故郷をあらわすものである。

問19 現代の企業と金融に関する記述として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 利潤を得ようとして生産活動を行っている企業が公企業であり、そうでないものが私企業である。
- イ 株式会社は株式を発行して資本金を集めるため、株主は会社が倒産した際に借金の全額に責任を負う。
- ウ 銀行などの金融機関は、資金に余裕のある人や企業と、資金が足りない人や企業の仲立ちをする。こうした資金を融通するはたらきを金融という。
- エ 金融機関には、民間金融機関の信用金庫と、政府系金融機関の日本政策投資銀行の二種類がある。

問20 日本の無形文化遺産に関する以下の記述のうち、正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 人形浄瑠璃文楽は、12世紀末に、三味線の音色に合わせて語られた浄瑠璃が人形劇に取り入れられたものである。5本の指で一つずつ、計5体の人形を同時に操る特徴を持つ。
- イ 雅楽は、日本に古くから伝わる音楽と舞、伝来したアジアの音楽と舞が融合して平安時代に完成し、皇室の保護を受けて受け継がれてきた。日本古来の笛や琴、外国から入ってきた笙、<sup>ししょう</sup>篳篥<sup>ひちりき</sup>などを使う。
- ウ 小千谷縮<sup>ちぢみ</sup>は、富山県に存在する小千谷市の赤や黄色を基調とした伝統的な絹織物である。新年を祝うために用いられる。
- エ 祇園祭は日本三大祭りに数えられ、青森県の冬を祝う六所神社の祭りである。奈良時代に流行した伝染病をはらうため、66本の山鉾<sup>やまぼこ</sup>を立てたのが始まりといわれる。